

# なるせだまニュース

平成19年  
1月  
第9号

## 年頭の挨拶

事業対策官 菊地 厚

あけましておめでとうございます。

昨年の正月は大雪の中で迎えましたが、今年は一転して雪の少ない正月となりてホッとしています。しかし、昨年12月27日の大雨による出水には驚きました。平成18年は大雪に始まり大雨で終わった年だったと思います。異常気象が異常気象でなくなってきているようで一抹の不安を感じます。

昨年の成瀬ダムの現場は1号トンネル、1号橋下部工工事が本格化し、現場に活気が溢れ、これに伴い現場に多くの見学者が訪れていただき本当にありがとうございました。

現在、現場には約50cmの雪が積もっており、1号橋については冬期休工中ですが、1号トンネル工事は24時間態勢で工事を進めています。

トンネルについては、今年の夏頃には、1,543mが貫通する予定となっていますし、1号橋についても3H工法という新工法で高さ50mを越える橋脚の姿が現れる予定ですので、今年も是非現場に足を運んでいただきたいと思います。

さきごろ平成19年度予算の政府案が決定しましたが、公共事業費は前年度比3.5%減で総額7兆円弱となり、20年前の水準となり、ますます厳しいものとなってきていますが、こうした中でも着実に事業を推進するために職員一丸となって頑張っていきますので今年もどうぞよろしく願いいたします。

## 成瀬ダム環境検討委員会開催

湯沢河川国道事務所では、平成18年12月26日湯沢市内のホテルにて成瀬ダム建設事業における環境影響のフォローアップを行うための「成瀬ダム環境検討委員会」を開催しました。

委員会は専門的な見知を有する学識経験者で構成され、委員長の小笠原嵩秋田大学名誉教授の他8名の委員で行いました。

成瀬ダム事業については、平成4年度より動植物等の調査が実施され、平成11年5月には閣議アセスに基づく環境影響評価書が公告・縦覧され一連の環境影響評価手続きは終了しております。

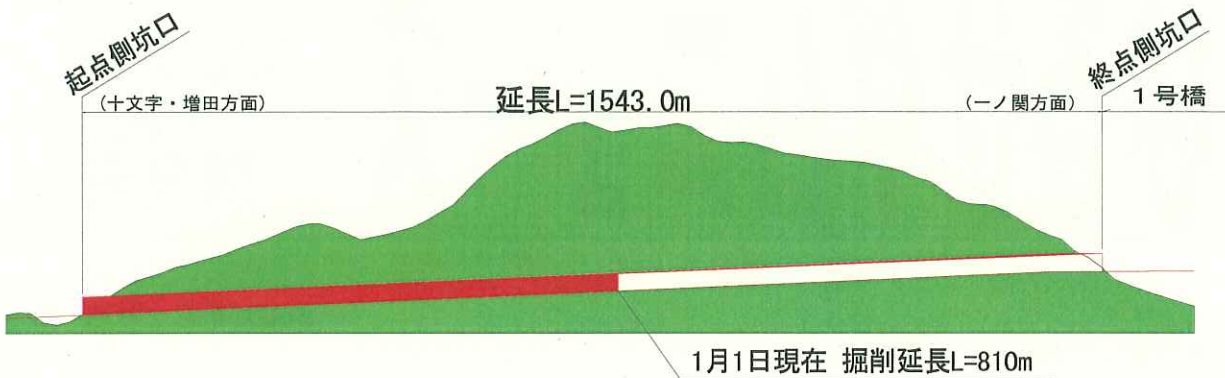
委員会では「環境影響評価法」に準じた環境調査方法ならびに事業の環境影響検討項目等について活発な議論がなされ、事業者としては、今後の予測評価に反映させていきたいと考えています。



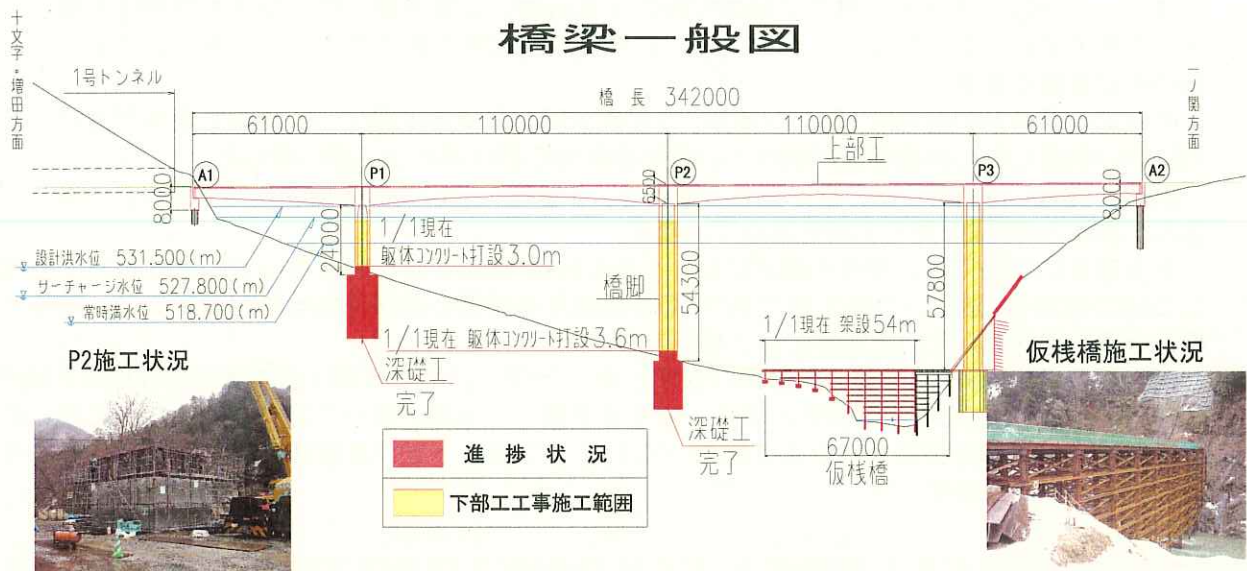
(環境検討委員会開催状況)

# 国道 (R342号) 付替工事の進捗状況

## ・1号トンネル進捗状況

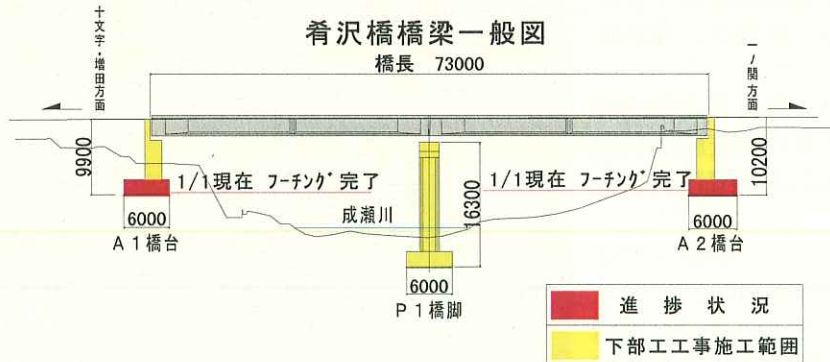


## ・1号橋下部工 進捗状況 (1月～3月は冬期工事休止期間となります)



# 国道 (R342号) 下流工事用道路工事の進捗状況

## ・肴沢橋下部工進捗状況



発行 国土交通省 湯沢河川国道事務所 開発工事課  
 〒012-0863 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2  
 TEL 0183-72-3170 FAX 0183-72-9722  
 湯沢河川国道事務所HPアドレス  
<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

成瀬ダム対策室 (秋田県東成瀬村役場 内)  
 〒019-0801  
 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1  
 TEL 0182-47-3409  
 FAX 0182-47-3290